

子どもの個性

子育て伝言板

富士保育所 主査 藤田真澄

保育所や幼稚園で、初めての集団生活を経験している子どもの様子が気になっていいる保護者の方も少なくないと思います。

「我が強いので、友だちと仲良くやっけていけるだろうか」「気が弱いので心配だ」などと、不安で落ち着かない毎日を過ごしていませんか。

子どもは成長するに従い、行動範囲が広がるとともに、自主性と自立性が育ちます。この時期は、自己主張の練習の時期でもあり、いたずらをしたり、友だちとけんかをしたりすることもありますが、集団生活を通して、さまざまな体験をしながら成長していきます。

親の目には、『引っ込み思案』に写っても、実は『じつくり考えて行動する』子どもであったり、逆に『活発に行動する』子どもであっても、『ちょっと乱暴で周囲への配慮に欠ける』子どもであったり、そのケースによって評価は大きく分かれます。

一番大切なのは、子どもの個性をしつかり把握した上で、長所を



伸ばしてあげること。子どもが間違ったことをしても頭ごなしに叱るのではなく、子どもの話を聞き、子どもの思いや感情をしつかりと受け止めてあげることが大切です。

子どもは、無意識のうちに親に認めてもらいたいという願望を持ってきます。長所と考える点を見つけ出し、ほめてあげると、子どもは自信をつけながら成長していきます。

親の対応の仕方は、子どもの成長に大きく影響します。子育てを長いスパンでとらえ、じつくりと腰を据え、ゆとりを持って、大きな愛情で子どもを包んであげてください。

▼問い合わせ 子育てグループ

(☎5634)

人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group

ストレッチ&ダンスサークル「ジョイステップ」

『ジョイステップ』は、ストレッチ運動やダンスを通して、健康づくりを図ろうと、平成7年に結成されました。

現在、会員は30歳代から50歳代までの女性17人。毎週金曜日の午前、しんた21に集まり、講師の塚田記久さん(塚田ジャズバレエ・ワークスタジオ)の指導のもと、さわやかな汗を流しています。

「運動は、継続することが大切です。普段の活動では、自分の体力に合わせて、無理をしないよう心掛けています。また、ストレッチ運動やダンスのほか、内臓や関節に負担をかける猫背になるのを防ぐため、正しい姿勢で歩く練習も取り入れています」と話すのは、代表の川西和子さん。

「最新の音楽でリズムを取りながら、ストレッチ運動やダンスを



最新の音楽に合わせて、ストレッチ運動やダンスを楽しんでいます



楽しんでいきます。汗を流すことで日ごろのストレス解消になるほか、気持ちも若返りますよ。ぜひ、わたしたちと一緒に心地良い汗を流してみませんか」と川西さんは、入会を呼び掛けていました。

2年前に入会した豊田和子さんは、「以前からダンスに興味があり、友人に見学を勧められたことをきっかけに入会しました。毎月、ダンスの内容が変わるので、飽きることはありません。サークルの雰囲気も明るく和気あいあい。仲間との交流も楽しいです。今後は、少しでも体を柔らかくすることを目標に、長く続けていきたいですね」と笑顔で話してくれました。入会を希望される方は、事務局の小和田さん(☎0011)または川西さん(☎1129)までどうぞ。